

分野	農業水利改良			事業番号	49	事業名	県営かんがい排水 (基幹水利施設ストックマネジメント)			
市町村名	千曲市、坂城町	ふりがな 箇所名	はにしな 埴科	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～		H28年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	頭首工補修工 N=1箇所 用水路補修工 L=4,370m				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	測量設計 1式				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降降				
	事業費計(千円)	320,000	0	0	19,000	320,000				
財源内訳	国庫支出金	160,000	0	0	9,500	160,000				
	その他	80,000	0	0	4,750	80,000				
	県債	72,000	0	0	4,000	72,000				
	一般財源	8,000	0	0	750	8,000				
	小計									
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評 価			ランク	評点	
	必要性 (20)	受益面積	500ha以上	200ha以上500ha未満	200ha未満	A	10	3		
		施設危険度	人家等への災害が予想	農地への災害が予想	災害が予想されない					
		地域用水機能	地域用水機能を有する	地域用水機能有しない						
		小計								
	重要性 (20)	市町村計画での位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		A	10	3		
		県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進	1つ推進	取組みなし					
		設計上の環境配慮項目	2項目以上配慮	1項目配慮	配慮項目なし					
		小計								
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上1.2未満	B/C1.0以上1.1未満	B	5	5		
		早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	11年以上					
		地域特有の取組み	2項目以上	1項目	なし					
		小計								
	緊急性 (25)	用水不足又は排水不良	受益の50%以上	受益の30%以上50%未満	受益の30%未満	A	10	5		
		応急対策の実施状況	応急対策を実施中	応急対策を過去に実施	応急対策を未実施					
		維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満					
		小計								
	計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6	3		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない					
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない					
		小計								
	費用対効果(B/C)	1.22	評 価 の 合 計			A	80			
	事業周知	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区は、農業用水の安定供給を図るため、昭和26年度から昭和42年度に県営かんがい排水事業により、頭首工及び幹線用水路が整備された地区である。施設は埴科郡土地改良区により維持管理されているが、既に耐用年数を経過し、施設の劣化が進行している。施設に重大なが生じた場合、地域農業だけでなく、河川や市街地への被害が懸念されている。							
		地域からの要望経緯	平成19年度に土地改良区から要望があり、保全対策事業の計画について検討を行っている。事業計画に先立ち、施設の機能診断及び保全計画策定を行うソフト事業の実施について要望が出され、平成21年度の実施に至る。							
		事業説明等の経緯	平成19年12月19日に土地改良区役員に対し、基幹水利施設ストックマネジメント事業の計画及び実施の手順等について説明会を実施した。平成21年度には、ソフト事業を実施し、機能診断及び保全計画策定を行なうなかで、土地改良区の要望等を計画に反映させるための事業打ち合わせを行った。							
環境・景観への配慮項目		既存構造物の延命化対策であるため、既存施設の有効利用を図り、産業廃棄物の発生を最小限に抑える。								
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。								
特記事項	特になし。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	頭首工や幹線用水路といった施設は、耐用年数が超過しコンクリートのひび割れや摩耗、剥離といった劣化の進行が確認されていることから、必要性、重要性、緊急性が高い。既存施設の補修対策により、効率的な更新整備を行う。			政策評価課	意見 必要性、重要性、緊急性が認められる。					